

選択B：話すA（議論）

【時間・コマ数】

週1日、10:00-11:50、全16コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

5人～7人、全1～2クラス（選択）

【到達目標】

- ・発表に必要な表現などを正確に発音できる
- ・発表に必要な表現などを使い、議論や話し合いをすることができる
- ・発表に必要な表現などを使い、議論や話し合いを回すことができる
- ・敵対的にならずに、建設的な議論や話し合いができる

【授業概要】

10:00-10:50

- ・教材①などを使い、発音・イントネーション練習
- ・教材②を使い、表現練習
- ・本日のテーマについて、調べてきたことを発表（一人3-5分くらい）、ペアワーク

11:00-11:50

- ・本日のテーマの話し合い
- ・担当者1名。担当者が司会を行い、議論を進める。

【授業テーマ・内容】

- ・国公立大推薦入試の小論文出題テーマ、留学生試験の小論文テーマ
- ・日本ディベート協会のテーマ
- ・時事問題

【教材】

- ①『さらに進んだスピーチ・プレゼンのための日本語発音練習帳』ひつじ書房
- ②「洗練された会話のための表現集」IUC自作教材 など

【その他】

- ・本日のテーマのについて調べてくる
- ・授業終了後、担当者は意見文を提出（400字程度）

選択B：話すB（議論）

【時間・コマ数】

週1日、10:00-11:50、全16コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

5人～7人、全1～2クラス（選択）

【到達目標】

1. やや複雑な敬語によるコミュニケーション場面を題材に、敬語使用における日本人の思考と行動を理解し、類似した場面で敬語を正しく使用できるようになる。
2. 日常的な場面において、複雑でより自然な会話ができるようになる。
3. フォーマルな議論ができるようになる。
4. フォーマルな発表（質疑応答を含む）ができるようになる。

【授業概要】

	授業内容	準備/予習
1	オリエンテーション	
2	会話、敬語、議論	
3	会話、敬語、議論	
4	会話、敬語、議論、研究発表練習	スライド準備
5	会話、敬語、研究発表練習 *中間フィードバック	スライド準備
6	会話、敬語、研究発表練習	スライド準備
7	会話、敬語、研究発表練習	スライド準備
8	会話、敬語、研究発表練習	スライド準備

【授業テーマ・内容】

ロールプレイによる会話練習、敬語に関する話し合いと会話練習、議論、発表、1分スピーチ

【教材】

1. 『ビジネス敬語相談室』 浅田秀子著 講談社 【敬語】
2. 『ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』 山内博之 凡人社 【自然な会話】
3. 「洗練された議論のための日本語表現集」 IUC 自作教材 【議論】
4. 『アカデミックプレゼンテーション入門』 凡人社 【発表・質疑応答】

選択B：話すC（発音）

【時間・コマ数】

週1日、10:00-11:50、全16コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

5人～7人、全1～2クラス（選択）

【到達目標】

- ・自分の発音の問題点を理解し気を付けることができるようになる
- ・聞き手が聞きやすくわかりやすい発音で話せるようになる
- ・音の違いが聞き取れ、イントネーションの山を理解できるようになる

【授業概要】

発話力の弱い部分を補い、発音を直すことに集中する。具体的には、様々な教材の視聴覚資料を用いて問題を意識化した上で、その練習を行い、自分の発音を録音したものを自己評価し振り返る。

【授業テーマ・内容】

- 第一回 発音の問題点を意識化する（二重母音、ストレスアクセント、カタカナ語）
- 第二回 イントネーションの山をつかむ、清音と濁音
- 第三回 オノマトペのアクセント、撥音
- 第四回 敬語のイントネーション、縮約形のリズム
- 第五回 同音異義語のアクセント、拗音、母音、母音の無声化
- 第六回 ポーズ、促音
- 第七回 複合名詞のアクセント、サ行とザ行、ザ行とジャ行
- 第八回 文末イントネーション

【教材】

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター出版準備中『新待遇表現』
中川千恵子・木原郁子・赤木浩文・篠原亜紀（2015）『伝わる発音が身につく！にほんご話し方トレーニング』アスク出版
赤木浩文・古市由美子・内田紀子（2017）「毎日練習！リズムで見につく日本語の発音」スリーエーネットワーク
戸田貴子（2009）『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク
等